

託児方法

- ・ ホテル内のベビーシッターサービスを利用(4つ星以上のホテルならあるが要事前確認)
- ・ キャンパス内にある day care (要事前確認)
- ・ キャンパス外にある day care (要調査) 等

どれが一番よいか悩みますが・・

- ・ 一般の私立の託児施設だと一時保育でも集団の中に入るので予防接種の証明書や緊急連絡先(親以外の連絡先など)、慣らし保育、いろいろ手続きが面倒。
- ・ 日本の認可外保育園のように**18時以降**も利用できる保育園は、海外では少ない。
- ・ 海外では一時的でもベビーシッターを雇うのが一般的なのでドロップイン(一時預かり)は少ない。
- ・ ホテルなどが紹介してくれるベビーシッター派遣会社などは信頼できる。

⇒ 以上のことから短期の旅行者なら

ホテルのベビーシッターサービスのほうが手軽でおすすめです。

施設選びのポイント(個人によって異なる)

- ・ 地点(アクセスしやすいか)
- ・ 質/信頼性
- ・ 期間(短期間は ok か)
- ・ 時間帯
- ・ 言語(英語がほとんどで日本語対応のケースは極めて少ない)
- ・ 料金 等

※まれに、学会会場へベビーシッターさんを手配してくれるホテルもあります。(要相談)

手段

- ・ ホテルコンシェルジュに申し出る
- ・ 学会主催者、学会会場に問い合わせる
- ・ 口コミ
- ・ Google map 等で検索

★**Google map** で滞在地域付近の一時保育を探す方法

URL: <http://maps.google.co.jp/>

1. ルート・乗換案内をクリック
2. A に学会開催地等(例: Berkeley university, バークレー 大学)を入力

3. 候補があがった場合該当するものを選び A を確定させる
4. B に Day care drop in hourly など一時保育に関するキーワードを入力
5. A 付近の一時保育が挙がるので適切な候補から距離や詳細を見て確認し表示されるサイトの URL をクリックし連絡先を調べて問い合わせをしてみる。
6. 決定したら B を確定させてルートを確認。(時間・条件、交通手段等の指定も可能)

★**エキスペディア**で海外ホテルを探す。(日本語検索ができ、ホテルの設備情報がある)

URL: <http://www.expedia.co.jp/default.aspx>

1. 出張する都市・ホテルのクラスなどの条件を入力し、検索
2. 並べ替え「ホテルクラス」をクリックすると、高ランクのホテルから表示される
3. 希望するホテル名をクリック
4. 「所在地と地図」: 道路地図(航空写真もあり)・周辺の情報の表示

「ホテルの詳細」→「施設の設備をご覧ください」

: ☆ここで、「**ベビーシッターサービス**」の有無を確認できます

近場のデイケアが見つからない場合は

日本人会 (URL: <http://www.faminet.co.jp/d-t/dt-us1.htm>) をいうものとやり取りしてみると近道になるかもしれません。

海外ホテルでのベビーシッターサービス利用について

気をつけたいことは日本のように阿吽の呼吸は通じない事があるのでミルクの量や食事の時間、ぐずったときの対処法など、どうやって話をしたいかなど念のため細かい部分もきちんと伝えておくことが大切です。

また、ホテルは万が一ベビーシッターの不注意あるいは故意によるけが、また勤務怠慢等があっても責任を負えないのがほとんどですが高級ホテルに出入りできるだけのスペシャリストのシッターさんで親以上に子どもを遊ばせるのが上手なくらいなので安心して大丈夫でしょう。

言葉はほぼ英語のみになってしまいますが、乳幼児にはなんの障壁にもならないでしょう。

<ある記事からの抜粋>

アメリカのベビーシッターサービスはかなり要注意しないと危険
渡米数ヶ月前にホテルの推薦とシッターの履歴書や調査書を事前に送付してもらって、慎重に。勿論、値段も高いけれど、ニーズはとてもあるらしい。

場所

ホテルの部屋、もしくはプレイルームがほとんど。プレイルームならおもちゃもたくさんあるので、長時間預けるなら退屈しないで過ごせるはず。そのあたりは申し込み時に確認しましょう。**国やホテルによりますが、子供の人数・年齢・場所・時間などの条件次第で、学会会場へベビーシッターさんを手配してくれるところもあります。(要相談)**

可能時間帯

午前7時ごろから午後11時ごろまでの間が一般的です。いっぽうで、24時間サービスなんてところもあります。おおむね、前日〜6時間前くらいまでに予約が必要なところがほとんどなので、予定が決まっていたら早めに予約しましょう。

料金 & 規約について

外部のベビーシッター会社に委託しているので、ホテルのHPには詳細が載っていません。また、料金は国の物価によって異なり、規約もホテルによって多少異なるので申し出る際は要確認です。

料金の参考 (2009年2月現在) 平日昼間の料金

約300円/1時間(タイリゾートホテル)

約700円/1時間(韓国、台湾)

6~8ドル(約**600円**)/1時間(米サンフランシスコ、シェラトンホテル)

SEK 150(約**1600円**)/1時間(スウェーデン、ストックホルム、ヒルトンホテル)

12ポンド(約**1600円**)/1時間(英ロンドン、マリオットホテル)

25ユーロ(約**2800円**)/1時間(仏パリ、マリオットホテル)

約25ユーロ(約**2800円**)/1時間(独ミュンヘン、シェラトンホテル)

600台湾ドル(約**1600円**)/1時間(台湾、シェラトンホテル)

35ドル(約**2000円**)/1時間(豪キャンベラ、パークハイアットホテル)

細かい決まりについては・・・

<台湾ウェスティンホテルの場合>

- ・ 最初の2時間は NT \$500 (≒1600円)
- ・ **夜10時以降**はベビーシッターに帰りの**タクシー代**として NT \$150(≒500円)払わなくてはな

らない。

- ・ キャンセルについては開始時間 4 時間前までにキャンセルを申し出ないとキャンセル料の NT \$ 350(≒1000 円)プラス帰りのタクシー代 NT \$150(およそ 500 円)を支払わなくてはならない。
- ・ すべての支払いはベビーシッターに直接手渡す事になっている。

<オーストラリアのパークハイアットホテルの場合>

- ・ 平日、土曜日は 1 時間 \$ 35 日曜・祝日は 1 時間 \$ 40
- ・ 最低 3 時間からの利用
- ・ 日中予約のキャンセルは前日の 21 時まで
- ・ 夜予約のキャンセルは当日の正午 12 時まで
- ・ **学会などに同行できるか**は、子供の人数・年齢・時間による。

<スウェーデンのヒルトンホテルの場合>

- ・ 学会などに同行できるかは、保育内容による。
- ・ 年齢、性別、子供が**英語を話せるか**? 理解できるか? を伝える
- ・ **男性または女性**、どちらのベビーシッターがよいか希望を取る

<ロンドンのマリオットホテルの場合>

- 【時間料金】・平日は**2歳未満**が13. 5ポンド。19時以降15ポンド
- ・ 平日**2歳以上**は10. 5ポンド。19時以降11. 5ポンド
 - ・ 土日は1. 5~2ポンド割増
 - ・ **予約手数料**として、16ポンド。23時以降の利用はシッターのタクシー代を支払う。
 - ・ ロンドン市内で適した場所があれば、追加料金なしでホテル外のシッティングサービスが可能

<ボストンのマリオットホテルの場合>

- ・ コンシェルジェを介し、**数社のベビーシッター会社を紹介**している。

(ホテルベビーシッター利用者の感想)

http://pigeon.info/m_feature/child_care1/collum.html

http://blog.livedoor.jp/kengo1230/archives/cat_1481450.html

<http://www2.rocketbbs.com/623/bbs.cgi?id=paiza&page=2>

(やはりホテルでベビーシッターに頼む方が安全という記事)

<http://bbs.jpcanada.com/log/16/86.html>

(ホテルベビーシッターサービスについて)

<http://www.tabikids.jp/2008/04/11/%E8%B5%A4%E3%81%A1%E3%82%83%E3%82%93%E3%81%AE%E8%8D%B7%E7%89%A9%EF%BC%86%E6%97%85%E3%81%AE%E3%83%9D%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%8>

[8%E3%82%92%E5%BE%B9%E5%BA%95%E8%A7%A3%E8%AA%AC%EF%BC%81/](http://questionbox.jp.msn.com/qa495714.html)

<http://questionbox.jp.msn.com/qa495714.html>

<http://oshiete1.goo.ne.jp/qa24129.html>

* アメリカにおいての一時保育の注意

1、デイケア(託児施設)について

デイケアセンター(Day Care Center)と呼ばれる託児施設とは。。。

- ・ 公立と私立があり、アメリカでは私立が主流
- ・ 街だけでなく、会社・学校・教会が運営しているものもある
- ・ 中間的なものとしてファミリーデイケアがある

個人の家庭で数人の子どもを預かって保育する。

保育者の資格や設備についての審査基準はあるが、

簡単なものでライセンスを持たない場合もあるので、注意が必要。

デイケアは、誰でも利用することが出来、手続きが簡単な点はとても便利です。

申込用紙を書いて、病院からもらった予防注射の記録を添付して提出すれば、手続き完了です。

2、デイケアの注意！！

ある大学のデイケアでは、主任の先生は大学院卒でも、それ以外はアルバイトだったということや、時間によって先生が異なり、「子供の一日の様子を聞くのに困った」ということがあるようです。更に、アメリカ人はそこまで丁寧にお尻を拭いてくれないので、低年齢でまだ紙おむつの子供の小股に汚物がついていて、病気になってしまったという事例もあるようです。

そこで、良いデイケアを探すためには、出来れば2日に渡って1、2時間過ごすことをお勧めします。ひとりの子どもに15分以上着目して、その子の行動に対するデイケアのスタッフの行動や、周囲の状況、カリキュラムを観察してみましょう。「子どもの要求に暖かく、きめ細かく応えているスタッフがいるかどうか」「デイケアの子ども的人数と、スタッフの人数が釣り合っているか」「働いているスタッフは子どもの年齢層に応じた保育が出来るように教育されているか」などに注意して、観察します。また、自分の子どもを連れて行き、あとで、本人に感想を聞いてみるのも良いでしょう。

訪問する際には、事前にアポイントを取っておきましょう。ただ、女性研究者の方は事前に訪問することは難しいと思います。フランスやスカンジナビア諸国などのデイケアの進んでいる国とは違い、アメリカのデイケアは、種類の増加が急激だったため、十分に対応出

来ていないのが現状です。なので、アメリカに幼い子どもと行く場合は、日本にいる夫や両親に預けるか、夫か両親にアメリカまで着いてきてもらい面倒を見てもらうか、知人に良いデイケアを紹介してもらうのが良いでしょう。

3、ベビーシッターにも要注意！！

ベビーシッターは家に来てくれるので、とても便利ですが、当たりはずれがあるようです。中には、幼児虐待をするシッターもいるようです。過去には、ベビーシッターに疑いを持った親が家にビデオカメラを仕込み、留守中の様子をビデオにとって見たら、そのシッターが赤ちゃんに対して虐待を加えていて、そのシッターはビデオを証拠に逮捕されたということもありました。

留守の間、子供の命・財産のすべてを預けるわけですから、信頼の出来るベビーシッターを利用すべきです。そのようなシッターを探すには、知人が使ったことのあるシッターを紹介してもらうのが、良いでしょう。そして、ベビーシッターを頼む際には、緊急時に両親に連絡が取れる状態にしておくことも重要です。

参考：ベビーシッターの料金は、経験や年齢に応じて多少異なりますが、
大体、時給7ドル以上です。

**上記でわかるように、アメリカのデイケア制度の現状は良いとは言えません。
知人や家族の協力がかなり重要であると思われます。**

(参考)<http://www.geocities.co.jp/SweetHome/3703/backnumber/hiroback7.html>

アメリカのご飯には、牛乳を含んだメニューが多いので、預ける際には、アレルギーに注意してください。